

復興廳第二復員局公報 第一九號

昭和二十一年八月一日(木)

第三復員局文書課

○令 達

復二第一三四號

復員廳分課規程中次ノヤウニ改正スル。

昭和二十一年七月三十一日

復員廳 總裁

別紙第二第二十八條ノ表中佐世保地方復員局ノ項掃海部ノ欄「佐世保」ヲ、舞鶴地方復員局ノ項掃海部ノ欄「七尾、新潟」ヲ削ル。

(參照 六月二十日第二復員局公報)

○通 牒

復二第一三五號

復員廳地方復員局定員表(內譯)中次ノヤウニ改正サレタ。

昭和二十一年七月三十一日

復員廳第二復員局長

佐世保ノ部中佐世保掃海部ノ項ヲ削リ「三三三」ヲ「三〇二」ニ、「九四五」ヲ「七九〇」ニ、「六四〇」ヲ「一、五三〇」ニ、舞鶴ノ部中七尾掃海部及ヒ新潟掃海部ノ各項ヲ削リ「一七

復員廳第二復員局公報 第一九號 昭和二十一年八月一日

六」ヲ「一五六」ニ、「四二五」ヲ「三九九」ニ、「九一一」ヲ「八八七」ニ、計ノ項「一、三三二」ヲ「一、二七二」ニ、「三、七二〇」ヲ「三、五二九」ニ、「六、五三三」ヲ「六、三七九」ニ改メル。

(參照 六月二十日第二復員局公報)

復二第一三六號

昭和二十一年復二第七號復員事務官ノ定員ニ關スル件中次ノヤウニ改正サレタ。

昭和二十一年七月三十一日

復員廳第二復員局長

佐世保地方復員局ノ項「七一」ヲ「四一」ニ、「三五二」ヲ「一九七」ニ、舞鶴地方復員局ノ項「二五」ヲ「五」ニ、「二〇二」ヲ「一六五」ニ、計ノ項「三〇九」ヲ「二五九」ニ、「一、四七二」ヲ「一、二八一」ニ改メル。

(參照 六月十九日第二復員局公報)

二復經主第六號ノ七六

昭和二十一年七月十六日

四三

復員廳第二復員局人事部長
復員廳第二復員局經理部長

關係各廳長殿

外地ニオイテ死亡シタ軍人軍屬ノ所屬遺留金
等ノ取扱ニ關スル件照會

首題ノ件ニ關シテハ別紙第一ノ取扱要領ニヨツテコレヲ處理セ
ラレクイ。尙本件ニ關シ大藏省理財局長カラ別紙第二ノ通り通
知ガアツタカラ了知セラレタイ。

遺ツテ陸軍關係ノモノニツイテモコレト同様ニ處理スルヤウ
ニ第一復員局カラ關係ノ向ニ連絡セラレテキル。

(別紙第一)

死亡軍人軍屬所屬遺留金取扱要領

一、死亡軍人軍屬所屬ノ遺留品ハスベテ原則トシテ上陸地連絡
所ニ於テ開相ノ上在中ノ遺留金ニ就テハ遺留金目録ニ基キ
上陸地連絡所長ハ

(イ) 各身分ニ應ズル持歸リ金制限額内ノ金額ニ就キ當該金額
ニ應ズル遺留金證明書ヲ發行シテ遺留金ト共ニ遺族ニ交付
スル(遺族ハ遺留金證明書ヲ遺留金ト共ニ日銀支店ニ呈示
シテ新開ニテ交換ヲ受ケルコトガ出來ル)

(ロ) 制限額以外ノ金額ニ就テハ税關ニ送附シ當該金額ニ應ズ
ル税關發行ノ保管證ヲ受取り遺族ニ交付シ保管セシメル。
二、上陸地連絡所長發行ノ遺留金證明書ハ別紙様式ニ依ルモノ
トシ之ヲ以テ引揚證明書ニ代ルモノトスル。

三、過去ニ於テ或ハ將來何等カノ事由ニ因リ上陸地ニ於ケル叙
上ノ手續方出來ズ遺留金ガ證明書ナシテ遺族ニ届イタ場合ニ
ハ所管ノ地方世話部ニ於テ遺留金目録ノ呈示ヲ受ケ或ハ其
ノ他ノ方法ニ依リ遺留品在中ノ金圓デアアル事ヲ確認ノ上第一
項ニ準ジ措置ヲスルコトガ出來ル。

四、遺留金ノ取扱及證明書ノ發行ハ不正不當ノ行爲ヲ未前ニ防
止スル様特ニ厳正ニ實施セラレタイ。

遺留金證明書

一金 圓 錢 (通貨ノ種類)

1 死歿者所屬部隊名

2 死歿者官氏名

3 遺族氏名(族稱)(遺族ニ記入サセル)

右之通り昭和 年 月 日交付シタ遺留品在中ノ遺留金デア
ルコトヲ證明スル

昭和 年 月 日

〇〇上陸地連絡所長
(地方世話部長) 氏

名 印職

(注意) 遺族ノ方ハ本證明書受領後一ヶ月以内ニ最寄リノ日本
銀行本店又ハ支店ニ遺留金ト共ニ提示シテ交換ヲ受ケ
テ下サイ。

(別紙第二)

藏理外第二一九五號

昭和二十一年七月九日

大藏省理財局長

復員廳第二復員局經理部長殿

戰歿者及引揚船中ニオケル死亡者ノ遺留現金
及證書等ノ取扱ニツイテ

首題ノ件ニ關シテ別紙ノ通り各稅關宛通牒シタカラ御承知ノ上
可然取計ハレタイ。

藏理外第二一九五號

昭和二十一年七月九日

大藏省理財局長

戰歿者及引揚船中ニオケル死亡者ノ遺留現金
及證書等ノ取扱ニツイテ

戰歿者及引揚船中ニオケル死亡者ノ遺留現金及證書等ニ付テハ
左記ノ通り引揚者ト同様ノ取扱ヲナスコトニナツタカラ御承知
アリタイ。
右通牒スル。

記

一 遺留現金ノ中、舊日銀券及現地通貨ヲ引揚ゲテ、左ノ限度
内デ日銀券ノ支拂ヲナスコト。

一般入及軍屬

二人ニ付テ 千圓相當額

將校 (見習士官及準
士官ヲ含ム)

一人ニ付テ 五百圓相當額

下士官以下

一人ニ付テ 二百圓相當額

二 現金預リ證 (之ニ準ズルモノヲ含ム) ノ場合ニハ現金預リ
證ヲ引揚ゲ現金ト通算シテ前項ノ限度内デ日銀券ノ支拂ヲナ
スコト。

三 第一項及前項ノ支拂ニ際シテハ、引揚證明書ノ代リニ、軍
入、軍屬ノ場合ハ遺留品ヲ遺族ニ直接交付スル官署又ハ部隊
ノ所屬長ノ發給シタ遺留金證明書ヲ、一般人ノ場合ハ引揚民
輸送隊長ノ發給シタ死亡證明書又ハ上陸港所在稅關責任者ノ
發給シタ交換證明書ヲ呈示サセテ、之ニ遺留金交換支拂ニ付
テノ裏書處理ヲナスコト。

(註) 引揚民輸送隊長ガ死亡證明書ヲ發給シ居ルトキハ上陸港
所在稅關責任者ハ交換證明書ヲ發給シナイコト。

四 第一項及第二項ノ支拂ハ、日本銀行本店、支店又ハ上陸港
所在代理店ヲナスコト。

五 左ノモノヲ遺族ニ引渡スコトノ出來ルモノガ携帶輸入スル
コトヲ認メルコト。
軍事郵便貯金通帳

本邦、樺太、千島列島、南洋群島、南西諸島 (北緯三十度
以南ニ限ル) 朝鮮、臺灣、關東洲又ハ北支那ニ於テ、日本
政府ガ發行シタ郵便貯金通帳

簡易生命保險證券

本邦ノ保險會社 (内地ノ店舗ニ限ル) ニヨツテ發行セラレ
タ保險證券

復員廳第二復員局公報 第一九號

昭和二十一年八月一日

四五

1173

本邦ニオイテ發行セラレタ銀行預金通帳
 六 日本政府發行ノ國債(同表示)シ遺族ニ引渡スコトノ出来
 ルモノガ、遺留現金又ハ現金預リ證ト通算シテ第一項ノ限度
 内デ携帶輸入スルコトヲ認メルコト。

二復經主第六號ノ八五

昭和二十一年七月三十一日

復員廳第二復員局經理部長

關係各廳長殿

外地關係郵便貯金ノ再度通帳發行ノ取扱ニ關
 スル件通知

首題ノ件ニ關シ逕信省貯金保險局カラ、朝鮮、臺灣、關東州、
 樺太、北支又ハ野戰郵便局若クハ海軍軍用郵便所(以下軍事郵
 便所ト略稱スル)ニ屬スル記號ノ郵便貯金通帳或ハ内地、千島
 列島、小笠原諸島、南洋群島又ハ南西諸島(北緯三十度以南ニ
 限ル)ニ屬スル記號ノ郵便貯金デ、朝鮮、臺灣、關東州、滿洲、
 樺太又ハ軍事郵便所扱ノ預入金ヲ混入シテキル貯金通帳ノ無餘
 白、亡失又ハ毀損汚斑ニ因ル再度通帳ノ發行ハ停止中デアツク
 ガ、今回コレヲ再度通帳發行ノ取扱ヲ實施スルコトトナツク
 旨、通知ガアツタカラ了知アリタイ。

追ツテ右ノ亡失ニハ外地ニオイテ聯合軍ニ押收セラレタモノ
 又ハ部隊ニ保管セラレタモノノヤウニ返還ノ見込ガアルモノ
 ハ包含サレナイ。尙聯合軍ニ押收セラレタモノニツイテハ外
 務省ヨリ聯合國最高司令部ニ返還方ヲ懇請濟デアリ、ソノ將

來返還サレルモノデ軍人軍屬ノ所持シテキクモノハ復員廳
 (陸軍關係ハ第二復員局、海軍關係ハ第三復員局)ヲ通ジ、ソ
 ノ他ノモノハ貯金保險局ヲ通ジ本人ニ返還サレル豫定デア
 ル。

○雜款

○轉官	五月四日	運輸技官ニ轉官	海軍技手	山崎 五郎
	五月十五日	内務事務官ニ轉官	海軍司政長官	高辻 武邦
	同	地方技官ニ轉官	海軍技師	古市 順一
	六月九日	運輸技官ニ轉官	海軍技手	田村 義雄
	六月十五日	地方事務官ニ轉官	海軍書記	織戸 利雄
	同	賞勳局事務官ニ轉官	同	中川信四郎
	同	大藏事務官ニ轉官	同	小林鶴一郎
	同	厚生事務官ニ轉官	同	福原 賢一
	同	大藏事務官ニ轉官	海軍司政官	淺野外茂記
	同	同	同	太田 源藏
	六月十七日	運輸技官兼運輸事 務官ニ轉官	海軍書記	北野 英一
	六月二十二日	檢事ニ轉官	海軍司政官	小島與三郎
	七月十五日	逕信事務官ニ轉官	海軍書記	鈴木 義雄
	同	大藏事務官ニ轉官	海軍司政官	淺岡 文夫

復員廳第二復員局公報

第二〇號

昭和二十一年八月三日(土)

第二復員局文書課

○令 達

復二第一三一號

昭和二十一年七月二十三日

復員廳總裁

第二復員部内各廳長殿

暑中執務時間ニ基キ事務處理要領ニ關スル件通達

大正十一年閣令第六號「各官廳執務時間」ニ基ク夏季執(休)務ノ實施ニ關シテハ左記諸件ニ注意シ事務處理上必要ノ人員ハ適宜交代制等ヲ採用シ執務時間外ト雖モ執務シ事務遂行ニ遺憾ナキヲ期スルコト。

記

- 一 復員廳本來ノ職責ニ鑑ミ復員事務處理上緊急ヲ要スル事項ノ處理ニ遺憾ナカラシメル。
- 二 進駐軍トノ折衝、開會中ノ議會或ハ他官廳等トノ連絡ニ支障ナカラシメル。
- 三 留守宅或ハ遺家族等ヨリノ安否相談、死亡公報ノ傳達、復員者ノ給與等ニ關シテハ親切第一主義ヲ採リ從前通り即決即答ノ措置ヲ講ズル。
- 四 行衛不明者調査ノ爲メ本籍名簿調製作業ノ如キ連續數日乃

至夜間ニ亙ルコトモ豫想セラルル特殊緊急要務ニ關シテハ他ク迄之ガ完遂ヲ圖ル。

復二第一三八號

昭和二十年内令第七號中次ノヤウニ改正スル。

昭和二十一年八月一日

復員廳總裁

大竹掃海部ノ項掃海船名ノ欄「雜役船(曳船)二隻」ノ前ニ「第二鮮友丸(阪)」ヲ加ヘル

神戸掃海部ノ項掃海船名ノ欄「第二鮮友丸」ヲ削ル

(參照 昭和二十一年三月六日第二復員省公報第一〇號)

復二第一四〇號

海軍計算證明規程中次ノヤウニ改正スル。

昭和二十一年七月三十一日

復員廳總裁

第五條 會計檢査院法第十六條ノ規定ニ依リ委託ヲ受ケタル左ノ出納計算ノ檢査及責任解除ハ海軍會計監督規程ニ規定スル監督ノ區分ニ從ヒ經理部長之ヲ行フ

一 收入金

復員廳第二復員局公報 第二〇號 昭和二十二年八月三日

四七

1175

- 二 經理部及補給部以外ノ出納官吏ノ出納ニ係ル前渡資金
- 三 歳入歳出外現金

四 物品

前項ノ出納計算ニ付テハ之ガ検査及責任解除ヲ爲ス官吏必要ナシト認ムルトキハ計算書ノ調製ヲ省略スルコトヲ得

第十六條ノ二 政府債務ノ支拂ニ代エ債主ヨリノ政府特殊借入金ヲ爲シ支出官又ハ契約擔任官ニ於テ其ノ通知ヲ受ケタルトキハ第二號ノ二書式ニ依リ政府特殊借入金調書ヲ作製シ支出計算書前渡資金出納計算書ニ添附スヘシ

前項ノ調書ニハ原債務ニ關スル證憑書類ヲ添附スヘシ證憑書類ニ關シテハ計算證明規程ノ規定ヲ準用ス

附則

本規程ハ昭和二十一年度ヨリコレヲ適用スル。但シ第十六條ノ二ノ規定ハ昭和二十年度分ヨリコレヲ適用スル。

戰時海軍計算證明規程ハコレヲ廢止スル。

(別紙添)

○ 通 牒

復二第一三三號

昭和二十一年七月二十六日

復員廳第二復員局文書課長

各 廳 長 殿

横須賀運航部ニ對スル賞詞ノ件通知

左ノ書類ヲ二十六日聯合軍司令部浦賀港分遣隊ヨリ第二復員局長宛持參シ手交サレタ。

昭和二十一年七月二十五日

聯合軍浦賀港分遣隊指揮官

陸軍中佐 ロバート・W・キング (署名)

第二復員局長 前田 稔殿

余ハ「チエーズ」少將ノ吉田利喜藏氏ニ對スル左記賞詞ヲ貴殿ニ傳達スル。

記

陸軍少將ツネリヤム・C・チエーズ (署名)

吉田利喜藏氏宛

余ハ浦賀引揚援護局視察ノ際、引揚者ノ引揚船下船作業ガ極メテ能率ヨク且都合ヨク行ハレテ居ルノヲ欣快トシタ。

浦賀港ニオケル余ノ部下ハ、余ニ對シ、貴殿ノ進駐軍ニ對スル協力ト同港ニオケル巧妙ナル艦船ノ操作ハ引揚計畫ノ順調ナル

遂行ニ寄與スル處大ナル旨ノ報告ヲ受ケタ。

余ハ貴殿ガ最モ困難ナル任務ヲ克ク遂行シツ、アル才幹ニ對シ

賞詞ヲ呈スル。

(復二第一四〇號別紙第二號ノ二)

(昭和二十一年八月三日復員廳第二復員局公報)

昭 和 何 年 度

何 年 何 月 分

政 府 特 殊 借 入 金 調 書

證 憑 書 何 冊

何 々 //

廳 名

職 官 氏 名 印

年 月 日 提 出

1177

總 括						
本 月 分	前 月 迄 分	合 計	備 考			
本 月 分 内 譯						
借 入 額	借入年月 及 番 號	債 主 名	原 債 務			
			科 目	契約又ハ 指今年月 及 番 號	件 名	金 額

1178

復員廳第二復員局公報

第二二號

昭和二十一年八月五日(月)
第二復員局文書課

○令 達

復二第一三九號

右ヲ特別輸送艦トシ横須賀地方復員局所管ト定メル。

- 元第七十一號海防艦
- 元驅逐艦 進
- 元海防艦 志 賀
- 元第十二號海防艦
- 元第二十二號海防艦
- 元第五十七號海防艦
- 元第九十七號海防艦
- 元第四百四號海防艦
- 元第五百五十四號海防艦
- 元第二百七十七號海防艦
- 元第三十八號驅潛艇

右ヲ特別輸送艦トシ佐世保地方復員局所管ト定メル。
昭和二十一年八月一日

復員廳 總裁

復二第一四四號

復員廳第二復員局及ビ地方復員局定員表中次ノヤウニ改正シ來

復員廳第二復員局公報 第二二號 昭和二十一年八月五日

ル八月十五日カラコレヲ施行スル。
昭和二十一年八月三日

復員廳 總裁

囑託ノ欄ヲ次ノヤウニ改メル。

囑	託
八四	三〇
二〇	一六
一四	一〇
六	一八〇

(參照 六月十九日第二復員局公報)

四九

復二第一四五號

復員廳第二復員局定員表（内譯）中次ノヤウニ改正シ來ル八月十五日カラコレヲ施行サレル。

昭和二十一年八月三日

復員廳第二復員局長

囑託ノ欄ヲ次ノヤウニ改メタル。

囑	託	一	三	四	一	三	一	四	一	六
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

一	三	七	八	二	一	七	一	〇	三	八	四
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

（参照）六月二十日第二復員局公報

復二第一四六號

復員廳地方復員局定員表（内譯）中次ノヤウニ改正シ來ル八月十五日カラコレヲ施行サレル。

昭和二十一年八月三日

復員廳第二復員局長

囑託ノ欄ヲ次ノヤウニ改メタル。

囑	託	三	〇	二	〇	一	六	一	四	一	〇	六	九
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

（参照）六月二十日第二復員局公報

復員廳第二復員局公報

第三號

昭和二十一年八月七日
第二復員局文書課

○通 牒

復二第一三三號

昭和二十一年七月三十一日

復員廳第二復員局長

關係各所轄長殿

艦外ニ在ル乗組員ニ對スル糧食給與ニ關スル

件通牒

別輸送艦船及掃海艦船ノ乗員ニシテ艦船ノ行動作業上歸省待機ヲ命ゼラレタ場合ハ左記ノ通食數ニ應ジ主食糧ヲ支給シ得ルコトニ定メラレタ。

記

米 九九瓦(一食分ニツキ)

二復補第一〇三六號

昭和二十一年七月三十二日

復員廳第二復員局經理部長

復員廳第二復員局補給部長

關係各所轄長殿

艦外ニ在ル乗組員ニ對スル糧食給與ニ關スル

件申進

復員廳第二復員局公報 第三號 昭和二十一年八月七日

首題ノ件ニ關シ今般復二第一三三號ノ通り定メラレタガ右ハ國內食糧事情上特例トシテ措置サレタモノデ特別保管艦艇乗員ニシテ歸省待機中ノ者及ビ艦船整備期間中歸省待機中ノ者並ビニ官房總第七五號(昭和二十一年五月二十八日)ニヨル交代シタ乗員ハ之ニ含マレルコトトナル。
ナホ歸省ノタメ旅行スル者ノ旅費ハ海軍内國旅費規則第十四條第三項(同第三十條第一項第四號關聯)ニ該當スル場合ノ外ハ支給サレナイ爲念。
追ツテ本件支給ノ場合ハ別表様式ニヨル證明書ヲ發行本人ニ携持サセルコトニ定メラレタ。

(別表添)

別表

番號	糧食支給證明書
發行年月日	昭和二十一年 月 日
發行廳々長	
氏名	
印	

受給者身分	氏名	給與品々名數量	給與期間	給與量額
			自昭和二十一年 月 日 食計 食 至同 年 月 日 食 食	一食ニ付キ 米 九九五ノ割

二復總第一二五號

昭和二十一年八月一日

復員廳第二復員局總務部長

關係各廳長殿

俘虜及ビ軍抑留者關係書類ニ關スル件照會

首題ノ件ニ就イテ別紙ノ通り俘虜情報局長官ヨリ依頼ガアツタカラ關係各部ニオイトテハ現地關係者方内地ニ歸還スルトキ關係書類ヲ携行スルヤウ現地ニ連絡傳達スルヤウニ努メラレタイ。追ツテ本件ニ關係アル海軍俘虜假收容所ハ次ノヤウデアアル。

蘭領「ボルネオ」(バンゼルマシン・ブロクチャウ・カンダカ
ン)

(別紙添)

別紙

俘情第五五號

各軍殘務整理部ニ對スル連絡ニ對スル依頼

昭和二十一年七月二日

俘虜情報局長官

第二復員局總務部長殿

當局ノ業務上必要有之ニ付各軍殘務整理部ニ對シテ俘虜及軍抑留者ニ關係セル者ノ内地歸還ニ方リ俘虜及軍抑留者關係書類悉ク皆携行相成ル様連絡シテ頂キ度イ。

尙當局ノ必要ナ不足資料左ノ通りニ付爲念申添フ。

一 海軍關係俘虜收容所ノ死亡者連名簿及死亡診斷書

二 同俘虜總員名簿

復員廳第二復員局公報 第二三號

昭和二十一年八月十日(土)

第二復員局文書課

○令 達

復二第一一九號

當分ノ開特別保管艦艇ニ指定スルモノノ定員ハ各々ソノ定員ノ範圍内トシ別ニ定メルトコロニヨル。但シソノ定員ハ夫々所管又ハ所在地ノ地方復員局(運航部)ニコレヲ置クコトガデキル。

昭和二十一年八月一日

復員廳總裁

○通 牒

二復總第一四八號

昭和二十一年八月九日

第二復員局總務部長

關係各廳長殿

惡質「ブローカー」ニ對スル警戒ニ關スル件申進

廢棄物資緊急措置令ノ發動ニ伴ヒ、從來主トシテ不當ノ手段等ニ依リ軍需物資ヲ取得シテ居タ業者、「ブローカー」等ガ復員局又ハ舊軍人ノ名ヲ騙ツテ右物資ノ處分ヲ急グヤノ事例(例別紙)ガ頻發シテ居ルカラ特ニ警戒スルヤウ指導アリ度イ。尙此ノ種

別 紙

事件ハ其ノ都度夫々根源ヲ探ネテ之ヲ拭掃ニ努ムルト共ニ適時當方ヘモ連絡セラレ度イ。

總務局長會報資料

七月二十六日、一復、文書課

各省ヘ統制物資賣込ノ爲復員局ノ名ヲ騙ルモノアリ一例左ノ如ク御注意願度

一 司法省記者俱樂部ノ者曰ク「復員局ヨリ運輸省ヘ一千萬圓ノ被服ヲ賣込ム筈デ仲介ニブローカーアリ」ト又曰ク「復員局ヨリ織物統制會社ヘモ賣込ミ計畫中ナリ」ト

二 一鮮人來リ「原町田ニ被服類數百萬圓アリ私ニモ拂下ゲ願ヒ度」

三 某者來リ「復員局ニテガソリン一本三、〇〇〇圓デ拂下ゲシアル山私ニモ御願シ度」等々

二復總第一四九號

昭和二十一年八月一日

復員廳第二復員局總務部長

各廳長殿

戰犯容疑者(舊軍人)取扱要領ノ件通知

復員廳第二復員局公報 第二三號 昭和二十一年八月十日

五三

首題ノ件ニ就テ別紙ノ通り終戦連絡中央事務局ヨリ通知ガアツ
タカラ然ルベク取計ハレタイ。
尙現ニ第二復員部内勤務者ニ對シ戦犯容疑者トシテ逮捕ノ指令
ガアツタ場合ハ中央ヨリ所轄長宛通知スルカラ事務引續竝ニ身
柄保護等ニ關シテ遺憾ナキヲ期セラレタイ。

(別紙添)

別紙

絡政安合第四六九號

昭和二十一年七月二十二日

終戦連絡中央事務局政治部長

第二復員局總務部長殿

戦犯容疑者(舊軍人)取扱要領ノ件

首題ノ件ニ關シ、關係官ニ於テ協議ノ結果、別紙申合ノ通り取
扱ノ事トナツタノデ、各關係方面ニ右申合事項ノ徹底方取計ヲ
ハレタイ。

尙本件ハ昭和二十一年八月一日ヨリ實施スル。

戦犯容疑者(舊軍人)取扱要領申合

第一、第二復員局
内務省
終戦連絡中央事務局

- 一 戦犯容疑者ノ逮捕及護送ハ總テ内務省デ擔當スル。
- 二 護送中ノ取扱ハ國內法令ヲ準用スルモ特ニ人權ノ尊重ニ留
意スル。

東京ニ於テ宿泊ヲ必要トスル場合ニ於テハ内務省ニ於テ擔當
スル。(警視廳保護室ヲ使用)

三 護送ハ巢鴨拘留所迄之ヲ行フ、但シ米第八軍拘留所司令官
ヘノ引渡ニ際シテハ終戦連絡中央事務局巢鴨分室係官之ニ立
會ヒ必要ナル協力ヲナスモノトスル。

護送警察官ハ巢鴨拘留所カラ受領證ヲ受領スル、巢鴨拘留所
ヘ引渡取扱時間ハ平日ニアリテハ午前八時ヨリ午後三時
迄、土曜日ニアリテハ午前八時ヨリ十時迄トシ休日ハ取扱ハ
ナイ。

四 外地ヨリ輸送シテ來タ舊軍人戦犯容疑者ハ内地陸上陸下同時
ニ第一復員局關係ニ在リテハ上陸地支局長ニ、第二復員局關
係ニ在リテハ上陸連絡所長ニ於テ本人ニ其旨傳達復員ノ處置
ヲトルト共ニ直ニ身柄ヲ上陸地ノ關係廳府縣警察部又ハ最寄
警察官署ニ引渡シ夫々第一(第二)復員局長ニ報告スル。

五 第一(第二)復員局官署ハ逮捕ノ爲メノ所在調査等ニ關シ
積極的ニ内務省ニ協力スル。

六 昭和二二、一、一八公安發第九號ニ係ル容疑者逮捕ノ申合
事項ハ右ノ通り改メル。
但シ證人ノ呼出ニ關シテハ従前ノ通りトスル。

復員廳第二復員局公報

第二四號

昭和二十一年八月十二日(月)

第二復員局文書課

○通 牒

二復經主第七號ノ八八

昭和二十一年八月九日

復員廳第二復員局經理部長

關係各廳殿

朝鮮人勞務者等ノ給與等ニ關スル件通知

首題ノ件ニ關シ二復經主第七號ノ七八(七月十九日公報参照)ヲ以テ通知シタガ今回更ニ厚生省勞務政局給與課長ヨリ別紙ノ通り追加通知ガツツカラ了知サレタイ。

別紙

給發第六十四號

昭和二十一年七月十七日

厚生省勞務政局給與課長

第二復員局主計課長殿

朝鮮人勞務者等ノ給與等ニ關スル件

官宛ノ次官通牒寫ヲ送付シ、關係方面ニ徹底方依頼シテ置キマシタガ、尙今般別紙寫ノ通り通知シマシタカラ、御含ミノ上特段ノ御配意ヲ御願ヒ致シマス。

復員廳第二復員局公報 第二四號 昭和二十一年八月十二日

給發第六二號

昭和二十一年七月十一日

厚生省勞務政局給與課長

各府縣内務部長 教育民生部長 殿

朝鮮人勞務者等ノ給與等ニ關スル件

標記ノ件ニ關シテハ六月二十一日厚生省發勞第三六號ヲ以テ厚生次官ヨリ地方長官宛通牒セラレマシタガ、尙左ノ事項御諒知ノ上貴部ニ於テモ警察部司法當局ノ他關係先ト密ニ連絡シテ關係者ノ指導ニ當ラレタク御參考迄御報ラセシマス。

記

- 一 本件ニツイテハ七月八日次官會議ヲ厚生次官ヨリ關係各省ニ報告シテ協力ヲ依頼シテアルコト。
- 二 尙本件ノ趣旨ハマ司令部ニ於テモ管下各軍政部隊ニ通達シテ實施ニツキ監督セラレル筈デアアルコト。
- 三 前記厚生次官通牒ノ左記第五項ニ「但シ民法ニヨル委任ヲ受ケタ場合ハ此ノ限りデハナイコト」ト記シテアルガ現在朝鮮人聯盟ハ法人格ヲモツ團體デハナイノデ團體個人ガ委任ヲ受ケタ場合ハ別トシテ團體トシテ委任ヲ受ケテ行爲スルコトハ出來ナイモノデアアルコト。

五五

四 朝鮮人勞務者等ニ對スル未拂金ツノ他ノ處理ニツイテハ債務履行地ノ供託所ニ供託セシメルコトトスル方針デ下司法省ノ他關係先ト連絡シ研究中デアルノデ決定次第勞政局長ヨリ通牒セラレル管ニツキ含ミ置カレ度キコト。

○雜款

○郵便物發送先

特別輸送艦 海第八十七號 福岡市海岸通り二丁目博多運航部氣付

同 巨 濟

同 竹 同

同 響 島 福岡市石城町博多上陸地連絡所

同 粟 氣付

同 荒 琦 同

同 輪第二十號 同

同 海第十八號 鹿兒島市住吉町鹿兒島運航部氣付

○事務所

七月二十九日移轉 岐阜地方世話部第二復員課

岐阜市長森北一色(舊東海第二十六部隊跡)

(電話岐阜四〇〇五番)

○殘務整理

自七月十一日第八海軍建設部殘務整理班
至八月三十一日

横須賀地方復員局内

七月十五日開始 特別輸送艦八雲殘務整理班

舞鶴市北吸町舞鶴地方復員局艦船運航部氣付

七月二十五日終了 神風殘務整理班

(爾後ノ連絡ハ横須賀運航部内伊藤事務官)

○轉官

七月十五日 大藏事務官(二)ニ轉 海軍司政官 松田 文藏

同 同 同 同 太田 亮一

同 同 同 同 同 山下龜太郎

同 大藏技官(三)ニ轉官 海軍技手 岩佐 巖

同 地方事務官(三) 海軍警部 島津 一

同 (發部補)ニ轉官 同 同

復員廳第二復員局公報

第二五號

昭和二十一年八月十六日(金)

第二復員局文書課

○通 牒

二復經主第二號ノ八八

昭和二十一年八月一日

復員廳第二復員局經理部長

復員廳第二復員局經理部長ノ歳入徴收事務分掌官職ニソノ取扱區分ヲ左ノ通り定メ昭和二十一年八月一日カラコレヲ施行スル。

歳入徴收事務分掌官	歳 入 區 分
横須賀地方復員局經理部長	地方復員局所屬ノ各部ニオケル昭和二十一年大藏省令第七十三號ニ規定スル歸郷旅費等ノ返還金
吳地方復員局經理部長	右ニ同ジ
佐世保地方復員局經理部長	右ニ同ジ
舞鶴地方復員局經理部長	右ニ同ジ
大湊地方復員局經理部長	右ニ同ジ
大阪地方復員局經理部長	右ニ同ジ

備考

復員廳第二復員局公報 第二五號

昭和二十一年八月十六日

歳入徴收事務分掌官ハ毎月徴收報告書ヲ調製シ參照書類ヲ添ヘ翌月五日マデニ提出スルコト。

二復經契第三〇一號ノ一八

昭和二十一年八月六日

復員廳第二復員局經理部長

關係地方復員局經理部長殿

引揚援護物資ニツイテノ件照會

外地カラノ軍官民引揚ノ進捗ニ伴ツテ逐次引揚援護局ノ縮少又ハ廢止方行ハレルガ首題品ハ其ノ性質ニ鑑ミテ二復經契第三〇一號ノ一〇、二復經契第三〇一號ノ一一、二復經契第三〇一號ノ一三ニヨル配給以外(インク、藥品ヲ除ク)ニ費消スルコトハ嚴ニ之ヲ戒メ余剩品ハ左記ニヨツテ任務未了ノ引揚援護局所存ノ淺野物産出張所ニ轉送シ爾後ノ引揚者援護ニ充當スル様取計ハレタイ。

記

一 轉送區分

轉 送 元	轉 送 先
管制經理部 淺野物産支店 出張所	管制經理部 淺野物産出張所

五七

横須賀經理部	名古屋支店	舞鶴經理部	舞鶴出張所
大阪經理部	大阪支店	舞鶴經理部	舞鶴出張所
佐世保經理部	針尾出張所 鹿兒島出張所	佐世保經理部	博多出張所

- 二 各管制經理部ハ七月十五日以降逐次發令セラレル配船豫定ニヨリソノ余剩物資ハ前項ノ區分ニヨツテ轉送シ品名數量ヲ至急當部ニ報告スルコト。
- 三 前項ノ轉送ハ運航部ト連絡ヲ密ニシテ極力輸送艦艇便ヲ利用シ之ニヨリ難イ場合ハ貨車輸送トスルコト。
- 四 轉送ニ要スル經費ハ當部ト淺野物産本社間デ協定スル。
- 五 煙草及ビ酒ニツイテハ現品化シクモノハ前四項ニヨルコトトシ未取得分ハ其ノ余剩制當數量ヲ當部ニ報告ノ上制當ノ變更ヲ受ケルコト。
- 六 詳細ハ各經理部ノ間デ協議スルコト。

○ 雜 款

- 郵便物發送先
 - 特別輸送艦 海第九十二號 佐世保郵便局氣付
 - 同 海第五十八號 同
 - 同 擇 同
 - 同 推 佐世保市福石町 佐世保運航部氣付
 - 同 竹 福岡市海津通二丁目 博多運航部氣付

- 同 掃第二十一號 東舞鶴郵便局氣付
- 同 奄 美 同
- 同 伊 王 山口縣大津郡仙崎町 仙崎運航部氣付
- 病 院 船 菊 丸 博多郵便局氣付
- 同 來 下關市吉見町下關掃海支部氣付
- 試 航 船 榮 昌 丸 香川縣多度津市 多度津郵便局氣付

○ 轉官

- 五月十四日 地方事務官(二)ニ轉官 海軍司政官 富阪 祐治
- 六月九日 運輸技官ニ轉官 海軍技手 松澤 宏
- 六月十五日 文部事務官(三)ニ轉官 海軍書記 宮村 大一郎
- 同 外務事務官(二)ニ轉官 海軍司政官 加藤 義明
- 同 商工技官(三)ニ轉官 海軍技手 木宮 大介
- 同 大藏事務官(三)ニ轉官 海軍司政官 山根加壽夫
- 六月二十五日 運輸技官ニ轉官 海軍技手 岡部 清

○ 正誤

雜款欄郵便物發送先「特別輸送艦海第十八號」ハ「海第九十八號」ノ誤デアル。

復員廳第二復員局公報

第二六號

昭和二十一年八月二十日(火)

第二復員局文書課

○令 達

復二第一五七號

元佐世保鎮守府在籍

軍艦 妙高

右ヲ帝國軍艦籍カラ除ク。

元横須賀鎮守府在籍

第四號掃海艇

元佐世保鎮守府在籍

第八號掃海艇

右ヲ帝國掃海艇籍カラ除ク。

元横須賀鎮守府在籍

第一號驅潛艇

第三號驅潛艇

第四十一號驅潛艇

元佐世保鎮守府在籍

第五號驅潛艇

右ヲ帝國驅潛艇籍カラ除ク。

元佐世保鎮守府在籍

第三十六號哨戒艇

右ヲ帝國哨戒艇籍カラ除ク。

昭和二十一年八月十日

復員廳總裁

復二第一五八號

特設掃海隊編制ヲ廢止スル。

昭和二十一年八月十日

復員廳總裁

復二第一五九號

汽船 第六長廻丸

同 第七長廻丸

同 利利丸

同 第二利丸

右ヲ特設掃海艇トシテ佐世保地方復員局所管ト定メタノヲ解ク。

昭和二十一年八月十日

復員廳總裁

○通 牒

復二第一七四號

昭和二十一年八月十九日

復員廳第二復員局公報 第二六號 昭和二十一年八月二十日

五九

復員廳第二復員局文書課長

關係各廳長殿

職員抄録原稿送付方ノ件照會

首題ノ件ニ關シテ別紙ノ通り内閣官房人事課長ヨリ照會ガアツタカラ別紙參照ノ上左記記入例ニ依リ作製ノ上今月末迄ニ人事
部ニ到着スル様送付サレタイ。

記

廳名 「復員廳第二復員局」

所在地 「東京都麹町區復ヶ關二ノ一」

電話番號 「自銀座三一一一〇至銀座三一一一九」

◎部課名 「人事部」電話番號「銀座三九四七、八三二〇」

職名	官等	氏名	住所(電話番號)
長	復員事務官 (一級)	何 某	東京都目黒區中目黒 某宮倉(大崎)
人事課長	復員事務官 (一級)	何 某	東京都目黒區中目黒 某宮倉(大崎)
(兼)			東京都澁谷區代々木富 某宮倉(大崎)
扶助課長	復員事務官 (二級)	何 某	東京都澁谷區代々木富 ケ谷町(澁谷西)

(註) 「」内ハ記入例

(別紙)

内閣入履第四四號

昭和二十一年八月二日

復員廳第二復員局長殿

内閣官房人事課長

職員抄録原稿送付方ノ件

標記ノ件ニ關シ別紙寫ノ通り印刷局長ヨリ照會ガアツタノデ別紙様式ニ依リ昭和二十一年九月一日現在ニテ貴廳ノ分調査作成ノ上來ル九月二日迄ニ當課ニ御提出下サレ度御願ヒ致シマス。

(別紙寫)

昭和二十一年七月二十五日

印刷局長

内閣書記官長殿

職員抄録原稿送付方御依頼ノ件

當局編纂發行ニカカル職員錄ハ昭和十八年七月一日現在調ノ分發行以來諸種ノ事情デ發行ヲ中止シテキマシタガ終戦以來各官廳ノ移轉機轉改正等ノタメ聯絡ノ困難其他ノ事情ニ鑑ミ今般左記要領ニヨツテ職員抄録ヲ發刊シ以テ事務上多少ナリトモ便宜ヲ圖リタイト存ジマスノデ御察用中恐縮ナガラ原稿御作製ノ上、期日マデニ御送付下サル様御願ヒ致シマス。

記

- 昭和二十一年九月一日現在調ヲ以テ貴所管ニカカル在京各官廳ノ所在地、電話番號及ビ秘書官、課長以上ノ職員(之ニ準ズル者ヲ含ム別紙參照セラレタシ)ノ氏名、官職名、住所、電話番號並ニ貴管下各地方所在ノ各廳(別紙參照セラレタシ)ノ所在地、電話番號及ビ職員ノ氏名、官職名ヲ記載スルコト。
- 原稿到達期日九月五日印刷局ニ必着ノコト。
- 編纂中ノ移動ハ出來得ル限り訂正タイト存ジマスカラ其ノ

都度至急御報告下さい。

一 原稿送付先 東京都半込區市谷本村町

印刷局業務部官報課

(別紙)

前記要項ニ記載シタモノノ他左記ノ分ヲモ記載セラレタイ。

記

一 内閣一、二級事務官(舊内閣書記官、内閣參事官)全部

一 内閣總理大臣秘書官

一 恩給局(小田原所在)ノ課長以上

一 法制局一、二級事務官(舊參議官及書記官)全部

一 戰爭調査會事務局ノ課長以上

一 國務大臣秘書官全部

以上氏名、官職名及住所、電話番号記載ノコト。

一 復員廳中地方所在ノモノ。

復員連絡局

留守業務局

復員通信部

船舶殘務整理部

地方復員局

一 戰災復興院中地方所在ノモノ。

特別建設出張所長

一 所在地、各部課長以上ノ氏名、官職名ノミ記載ノコト。

復員廳第二復員局公報 第二六號 昭和二十一年八月二十日

二復經主第七號ノ九三

昭和二十一年八月十五日

復員廳第二復員局經理部長

關係各廳長 殿

軍人軍屬ニ支給シタ歸郷旅費等ノ國庫返納手續等ノ取扱細目ニ關スル件通牒

今般大藏省令第七十九號ヲ以テ首題ノ納付手續等定メラレタガコレヲ取扱細目ハ左記ニヨラレタイ

記

一 昭和二十一年大藏省令第七十三號第一項ノ返還金トハ内地以外ノ地ヨリ歸還ノ海軍軍人軍屬(文官同待遇者及部内限文官待遇囑託者ヲ謂フ)ガ内地港灣ニ歸着シタトキ地方復員局上陸地連絡所復員部主計課長ノ移牒シタ外地歸還海軍軍人軍屬申告書乙片ニヨリ作給家族下渡應ニ於テ封鎖支拂ニ依リ支給シタ昭和二十年十二月第一三〇九二五番電ニ依ル歸郷旅費及ビ海軍戰時特例給與規則第十二條ノ遭難服裝手當ヲ謂フ。

註 一 下士官、兵ノ歸郷旅費ハ五百圓以下デアルシ雇員、傭人及工員ニ對スル歸郷旅費及遭難服裝手當ノ合計支給金額ハ五百圓以下デアルカラ返還ノ要ハナイ又判任文官同待遇者(部内限文官待遇囑託者ヲ含ム)デモ歸郷旅費及遭難服裝手當合計額ガ五百圓以下ノ者ハ返還ノ要ガナイ。
二 歸郷旅費及遭難服裝手當ノ合計額ガ五百圓ヲ超スル

場合ニ上陸地連絡所復員部ニ於テ五百圓ニ滿タナイ金額ノ自由支拂ヲ受ケタ者又ハ全然自由支拂ヲ受ナカツク者ニ對スル返還金ハ既ニ支給シタ金額ト合算シテ五百圓ニ滿ツル金額ヲ控除シタ殘額ニツイテ返還金トシテ納入告知書ヲ發行スル。

二 前號ニ該當スル給與ヲ支給シタ第二復員局經理部長(第二復員省經理局長ヲ含ム)及地方復員局經理部長ハ當該給與金ノ受給者ニ對シ歳入徴收官又ハ歳入事務分掌官トシテ昭和二十一年九月十五日迄ニ昭和二十一年大藏省令第七十九號別表ノ納入告知書ヲ發行シ之ヲ交付スル

註 納付期日ハ昭和二十一年九月三十日トスル。

三 歳入徴收官及ビ歳入事務分掌官前號ノ告知書ヲ發行シントキハ官階(等)別員數及金額ヲ記載シタ返還金調書ヲ作成シ昭和二十一年九月三十日迄ニ第二復員局經理部長ニ提出スルモノトスル。

(参照) 昭和二十一年大藏省令第七十九號 六月二十日官報號外
同 第七十九號 七月九日官報

○ 雜 款

○郵便物發送先
特別輸送艦 早 埼 横須賀市浦賀町横須賀運航部氣付

○正誤

八月十二日附復員廳第二復員局公報令達欄第五頁二復經主第七號ノ八八中「復員廳第二復員局經理部長」ハ「復員廳第二復員局經理部」ノ誤

復員廳第二復員局公報

第二七號

昭和二十一年八月二十一日(水)

第二復員局文書課

○令 達

復二第一六五號

元特務艦 宗 谷
右ヲ特別輸送艦トシテ横須賀地方復員局所管ト定メタノヲ解ク。

汽 船 長 運 丸
同 高 榮 丸
同 水 川 丸
同 菊 丸
同 新 興 丸
右ヲ特別輸送艦トシテ横須賀地方復員局所管ト定メタノヲ解ク。

元雜役船 津 久 茂
汽 船 紀 進 丸
同 高 砂 丸
右ヲ特別輸送艦トシテ吳地方復員局所管ト定メタノヲ解ク。

同 筑 紫 丸
同 長 江 丸
同 阿 多 田 丸

右ヲ特別輸送艦トシテ佐世保地方復員局所管ト定メタノヲ解ク。

同 室 津 丸
右ヲ特別輸送艦トシテ舞鶴地方復員局所管ト定メタノヲ解ク。
昭和二十一年八月十五日

復員廳總裁

復二第一七六號

元第九十一號哨戒特務艇
右ヲ掃海艦トシテ吳地方復員局所管ト定メル。

昭和二十一年八月十五日

復員廳總裁

復二第一七七號

昭和二十年内令第七號中次ノヤウニ改正スル。

昭和二十一年八月十五日

復員廳總裁

大竹掃海部ノ項掃海艦名ノ欄「黒神」ノ次ニ「哨特第三百三十五號、同第三百九十一號」ヲ加ヘ、「驅潜特第三百七十五號、同第三百八十七號」ヲ「驅潜特第三百七十四號、同第三百七十五號、同第三百八

復員廳第二復員局公報 第二七號 昭和二十一年八月二十一日

六三

十七號、同第二百十五號」ニ、掃海船名又ハ隻數ノ欄「雜役船（曳船）二隻」ヲ「雜役船（曳船）四隻」ニ改メル。
 下關掃海部ノ項掃海船名又ハ隻數ノ欄「雜役船（曳船）一隻」ヲ「雜役船（曳船）二隻」ニ改メル。
 徳山掃海部ノ項掃海船名ノ欄「哨特第三百三十五號、靈潛特第七十四號、同第二百十五號」ヲ削リ、掃海船名又ハ隻數ノ欄「雜役船（曳船）六隻」ヲ「雜役船（曳船）三隻」ニ改メル。

（參照 昭和三年七月六日 第二復員省公報第一〇號）

復二第一七九號

- 一 復員廳第二復員局部内職員公務ニヨリ内地ヲ旅行スルトキ支給スル日當及ビ宿泊料ハ海軍内國旅費規則第四表及ビ第五表ノ規定ニカ、ハラズ別表ニヨル。
- 二 海軍内國旅費規則第三十九條ノ規定ハコレヲ適用シナイ。
- 三 前二號ノ規定ハ昭和二十一年八月一日以後ノ旅行ニツイテコレヲ適用スル。
- 四 昭和二十一年官房經第一六號ハ昭和二十一年七月三十一日限りコレヲ廢止スル。

昭和二十一年八月二十日

復員廳總裁

（別表）

第四表 普通旅費

旅費等級	親任官		同級過者		同級過者		同級過者		備員	備人
	甲地	乙地	甲地	乙地	甲地	乙地	甲地	乙地		
當	三〇〇	二〇〇	三〇〇	二〇〇	三〇〇	二〇〇	三〇〇	二〇〇	一〇〇	一〇〇
宿泊料	六〇〇	四〇〇	六〇〇	四〇〇	六〇〇	四〇〇	六〇〇	四〇〇	三〇〇	三〇〇

備考 甲地方トハ東京都、京都市、大阪市、横濱市、神戸市及名古屋市ヲ、乙地方トハ其ノ他ノ地域ヲ謂フ。

第五表 特定旅費

旅費等級	親任官		同級過者		同級過者		同級過者		備員	備人
	甲地	乙地	甲地	乙地	甲地	乙地	甲地	乙地		
當	三〇〇	二〇〇	三〇〇	二〇〇	三〇〇	二〇〇	三〇〇	二〇〇	一〇〇	一〇〇
宿泊料	六〇〇	四〇〇	六〇〇	四〇〇	六〇〇	四〇〇	六〇〇	四〇〇	三〇〇	三〇〇

備考 甲地方トハ東京都、京都市、大阪市、横濱市、神戸市及名古屋市ヲ、乙地方トハ其ノ他ノ地域ヲ謂フ。

復員廳第二復員局公報

第二八號

昭和二十一年八月二十三日(金)

第二復員局文書課

○令 達

復二第一八〇號

昭和十八年内令第二五六六號中次ノヤウニ改正スル。

昭和二十一年八月三日

復員廳 總裁

元山方面特別根據地隊ノ項特設掃海艇ノ欄「第三號太平丸(佐)」ヲ削ル。

上海方面根據地隊ノ項特設驅潛艇ノ欄「第三萬代丸(吳)、第二大平丸(吳)、第七大平丸(吳)、第三高倉丸(吳)、第四神威丸(吳)、第七島海丸(吳)、第八國見丸(吳)、第九藏王丸(吳)、第三十四郵船丸(吳)、第六十一辰鷹丸(吳)」ヲ削ル。

復二第一八一號

汽 船	第三萬代丸
同	第二大平丸
同	第七大平丸
同	第三高倉丸
同	第四神威丸
同	第七島海丸
同	第八國見丸

右ノ特設驅潛艇トシテ吳地方復員局所管ト定メタノヲ解ク。
同 第九藏王丸
同 第三郵船丸
同 第六十一辰鷹丸
右ノ特設掃海艇トシテ佐世保地方復員局所管ト定メタノヲ解ク。
同 太平丸

昭和二十一年八月三日

復員廳 總裁

○通 牒

二復經理局主第七號ノ九七

昭和二十一年八月二十二日

復員廳第二復員局經理部長

關係各廳長殿

第二復員局勤務員ノ給與等ニ關スル件通知

首題ノ件ニ關シ左ノ通り發電セラレタカラ承知サレタイ。

第三番電 (昭和二十一年八月十二日發電濟)

發 經理部長

復員廳第二復員局公報 第二八號

昭和二十一年八月二十三日

六五

1195

宛 各地方復員局經理部長

外地ニ在ル雇員備人並ニ公務員テナイ囑託者(死歿未發表ノ者ヲ含ム)ニ對シテハ第二復員部内職員給與規則附則第七項ニヨリ昭和二十年十二月一日以後ハ昭和十八年官房機密第四一二號今次戰爭雇員備人扶助金支給特例中第二條ノ適用ナキニツキ扶助金ノ算出ノ標準ノ給料ニ對シ増率ノ適用ハナイカラ處理上留意セラレタイ。昭和二十一年十二月一日前ニ死歿シタ者デ同日以後支給スル扶助金ニツイテモ同様ニ取計ハレタイ。

○雜款

○郵便物發送先
 特別發送艦 竹 橫須賀市田浦郵便局氣付
 特別保管艦 生 野 同
 同 海第二二七號 佐世保郵便局氣付
 特別發送艦 菫 同
 同 輪第一三七號 同
 同 海第一九六號 同
 同 隱 岐 同
 特別發送艦 長 運 丸 博多郵便局氣付
 特別發送艦 占 守 東舞鶴郵便局氣付
 同 海第一五八號 同
 同 萩 同 吳市吳地方復員局運輸部氣付
 同 海第一四二號 同

同 福 江 鹿兒島市六日町
 同 海第二〇七號 鹿兒島上陸地連絡所氣付
 特別發送艦 室 津 丸 同
 特別發送艦 海第二〇五號 舞鶴市
 同 輪第一一〇號 橫須賀市浦賀町
 同 栗 橋 同 橫須賀地方復員局運輸部氣付
 同 海第八一號 福岡市海岸通り二丁目
 同 春 月 同 博多運輸部氣付
 同 海第四四號 佐賀縣西松浦郡
 同 掃 海 艦 海第四九號 青森縣八戸市郵便局氣付
 同 航 船 若 草 丸 岡山縣玉野市三井造船所氣付
 同 榮 昌 丸 岡山縣玉野市玉郵便局氣付

復員廳第二復員局公報

第二九號

昭和二十一年八月二十七日(火)

第二復員局文書課

○令 達

復一第一八二號

昭和二十年內令第七號中「ヤウ」改正スル。

昭和二十一年八月二十日

復員廳總裁

下關掃海部ノ項掃海艦名ノ欄「哨第三百三十六號」ノ次ニ「同第三百三十八號、同第三百三十九號」ヲ、「同第七十五號」ノ次ニ「同第七十九號」ヲ加ヘ、「同第七十六號(佐)」ヲ削リ、「同第八十六號、同第七十九號、同第八十六號」ヲ「同第八十六號、同第六十四號、同第七十九號、同第八十六號、同第九十八號」ニ改メル。

仙崎掃海部ノ項ヲ削ル。

神戸掃海部ノ項掃海艦名又ハ隻數ノ欄「第三鮮友丸」ヲ削ル。

大湊掃海部ノ項掃海艦名又ハ隻數ノ欄「雜役船(曳船)二隻」ヲ「雜役船(曳船)一隻」ニ改メル。

(參照 昭和二十年七月六日第二復員省公報第一〇號)

復一第一八三號

元第七十六號哨戒特務艇

右ノ掃海艦トシテ佐世保地方復員局所管ト定メタノヲ解ク。

汽船 第三鮮友丸

右ノ掃海艦トシテ大阪地方復員局所管ト定メタノヲ解ク。

昭和二十一年八月二十日

復員廳總裁

○通 牒

二復入扶第一五號ノ一七四

昭和二十一年八月十七日

復員廳第二復員局人事部長

各地方復員局人事部長殿

復員海軍軍人、軍屬ヲ國立病院ニ入院中死亡

シタ者ノ取扱ヒニ關スル件照會

首題ノ件ニツイテ、別紙ノ通り醫療局次長ニ照會シタ所、差支ヘナイ旨回答ガアツタカラ、自今コノ要領ニヨツテ處理スルコトニスル。

(別紙)

二復入扶第一五號ノ九五

昭和二十一年七月二十三日

復員廳第二復員局公報 第二九號 昭和二十一年八月二十七日

復員廳第二復員局人事部長

醫療局次長殿

復員海軍軍人、軍屬テ國立病院ニ入院中死亡

シタ者ノ取扱ニ關スル件照會

首題ノ件、左記ニヨツテ處理シタイノデアアルガ、コレニツイテ
貴見ヲ承知シタイ。

記

一 死亡通知

死亡者ノ親族又ハ身元引受人ニ電報スル等、貴局所定ノ手續
ヲナスト共ニ、左ノ事項ヲ、本人在籍ノ第二復員局人事部長
又ハ各地方復員局人事部長宛通知サレタイ。

右ノ場合通知先ノハツキリシナイモノハ、凡テ第二復員局人
事部長宛送付サレタイ。

本籍

官等級、氏名、生年月日、電報符又ハ入籍番號

戸主ノ氏名及ビ戸主トノ續柄

入院年月日及ビ傷病名並ニ發病年月日

死亡年月日時

死亡ノ場所

死亡ノ事由

遺族現住所

其ノ他參考事項

二 戸籍抹消

(イ)(ロ)(ハ)(ニ)(ホ)(ヘ)(ト)(チ)(リ)

第二復員局人事部長又ハ各地方復員局人事部長ハ前項ノ通知
ニヨツテ、戸籍法第百十六條ノ規定ニヨル戸籍抹消手續キリ
行フカラ、コレニ添付ヲ要スル死體檢案書又ハ死亡診斷書ヲ
貴局ニ於テ調製ノ上(二通)ヲ、前項死亡通知ト共ニ、夫々
ノ人事部長宛送付サレタイ。

三 死亡者中、戰歿者トシテ取扱フヲ要スル者ニツイテハ、第
一項ノ通知ニ基キ、夫々第二復員局人事部長又ハ各地方復員局
人事部長ニ於テ處理スル。

四 遺骨ハ最寄リノ地方復員局人事部長ニ移管サレタイ。
但シ遺族ノ要望ガアレバ、適宜前渡シサレ差支ヘナイ。

尙コノ場合ハ夫々第二復員局人事部長又ハ各地方復員局人事部長
ニ通知スルト共ニ、後日正式ノ英靈傳達式施行ノ際ハ遺骨受
領濟ノ旨申シ出ルヤウ遺族ニ傳ヘオカレタイ。

復員廳第二復員局公報

第三〇號

昭和二十一年八月二十九日(木)
第二復員局文書課

○通 牒

二復總第一八七號

昭和二十一年八月二十三日

復員廳第二復員局總務部長

關係各廳長殿

特別保管艦艇保管實施要領ノ件通知

首題ノ件ニ關シ別紙ノ通り定メラレタカラ了知サレタイ。

(別紙)

特別保管艦艇保管實施要領

一 特別保管艦艇トハ一九四六年六月十八日 *ComNavtag Sec. 1005* ヲヨリ引揚輸送又ハ掃海任務ヨリ除カレ將來ノ處理方決定スル迄保管セシメラレル艦艇ヲ謂ヒ其ノ保管等ハ本實施要領ニヨル。

二 艦船ガ特別保管艦艇ニ定メラレタ場合ニハ中央ヨリ關係各部ニ對シ左ノ事項ヲ指令スル。

- (イ) 保管艦名及保管地名
- (ロ) 保管地ヘノ回航要領
- (ハ) 其ノ他必要ナ事項

三 保管地ヲ管轄スル地方復員局長ハ右指令ヲ受領セバ速カニ

該艦艇ノ泊地(繫留浮標番號又ハ繫留岸壁名等)ヲ所要ノ向ニ通知スル。

四 特別保管艦艇ニ指定サレタ艦船ハ中央指令ニ依リ保管地ニ廻航シ指定ノ泊地ニ就キ之ヲ當該復員局長ニ報告スル。

五 當該復員局長ハ特別保管艦艇入港後ナルベク速ニ次ノ諸作業ヲ保管艦艇ニ實施セシメ(特別保管作業實施標準附表ノ通)作業終了セバ之ヲ所要ノ向ニ報告(通報)スル。

(イ) 現狀報告及保管物件目録提出

現狀報告(現役務欄ニ繫留浮標番號又ハ岸壁名ヲ附記スル。以下之ニ同ジ)及ビ保管物件目録ヲ作成シ之ヲ中央ニ

(ロ) 現狀調査

地方復員局ハ前項保管物件目録ニ基キ速ニ現狀調査シ行フ之ヲ爲關係地方復員局ハ豫メ現狀調査委員ヲ編成シテ置ク其ノ編成要領ハ左ノ通デアル。

- 委員長 地方復員局長
- 委員 總務、運航、造修、經理、補給、通信、醫務關係適宜

其ノ他地方復員局長ノ定ムル者
右ノ外物件陸揚及ビ保管辭ノ編成終了時及ビ地方復員局長

復員廳第二復員局公報 第三〇號

昭和二十一年八月二十九日

六九

1199

所定時現狀調査ヲ行フ。

(ハ) 乗員ノ異動交替

乗員ハ各職階ヲ通ジ其ノ約二分の一ヲ本籍地方復員局(運航部)ニ轉勤セシメル。但シ元士官又ハ特務士官准士官ノ異動ハ中央又ハ關係地方復員局ヨリ發令スル

(ニ) 保管群ノ編成

(一) 各地方復員局長所定ニ依リ成ルベク同型艦六隻ヲ以テ一群ヲ編成シ速ニ基準保管艦名及ビ編成要領ヲ電報デ報告スルモノトスル。

編成標準別紙ノ通

(二) 各群ニ一隻ノ基準保管艦ヲ置ク基準保管艦ニハ定員表ニヨル定員ヲ置キ(缺員ハ補充スル)其ノ他ノ特別保管艦(以下通常保管艦ト稱ス)ニハ左ノ保管員ヲ置ク。

二級事務官(先任將校職務執行者)

應急部員

電機部員

機械部員

艦部員

通常保管艦ハ物件陸揚其ノ他保管狀態ガ概成シタナラバ右保管員以外ノ乗員ヲ所在運航部ニ轉勤セシメル。

(ホ) 保管實施

(一) 保管群ノ責任ハ基準保管艦々長之ニ任ズルモノトスル。

(二) 保管艦艇ハ出動ノ指令受領後二十日以内ニ出動可能ノ狀態トシテ置クコトヲ建前トスル。

(三) 颱風其ノ他不慮ノ事態ニ即應シ保安ニ遺憾ナイ様ニスルコト。

基準保管艦々長ハ作業員ヲ要スル場合之ヲ地方復員局

(運航部)ニ要請スルコトガ出來ル。

(四) 搭載物件ヲ左ノ通トスル。

(1) 燃料 各艦共滿載ノ二五%以下

(2) 需品、被服、糧食、治療品、酒保物品等

(a) 基準保管艦 備品ハ全部、糧食ハ乗員ノ一ヶ月分

以內其ノ他ハ必要最少限度保有スル。

(b) 通常保管艦 備品ハ全部、第一種需品ノ消耗品ハ

必要最少限度保有スルモノトシ其ノ他ハ全部陸揚スル。

(3) 機關部分品艙裝品ハ搭載ノママトスル。

(五) 整備

船體機關各部ノ整備ニ對シテハ特ニ留意シ要スレバ各運

航部内ニ整備班ヲ編成シ置キ整備ニ協力サセルモノトス

ル。向各復員局長所定ニヨリ隨時整備査閲ヲ實施スル。

六 日課週課上陸休暇

(イ) 日課週課上陸休暇ハ各基準保管艦々長指揮ノ下ニ保管群

毎ニ統制實施スル。

(ロ) 日課週課上陸ハ從來通

(ハ) 休暇

(一) 特別保管艦艇乗員

保管状態完成後左ニヨリ休暇ヲ許可スル。

- (1) 基準保管艦 乗員半數宛ニ對シ各百十日宛
- (2) 通常保管艦 保管員ノ半數宛ニ對シ各百十日宛

但シ右ニヨル缺員ハ當該群基準保管艦ヨリ補充スル。

- (3) 休暇ハ歸艦ノ指令受領後三日以内ニ歸艦シ得ル範圍内ニテ許可スル、三日以内ニ歸艦不能ノ者ニ對シテハ

特ニ基準保管艦々長ノ許可ヲ要スル。此ノ場合基準保管艦々長ハ當該員ヲ速カニ歸艦セシム

ベキ處置及缺員出動ノ場合ノ對策ヲ講ジテ置ク。(4) 休暇中在艦者ノ上陸ハ二分ノ一以内トスル。

- (5) 休暇中保安其ノ他必要アル場合ハ基準保管艦々長ハ所要ノ作業員ヲ地方復員局(運航部)ニ請求スルコトガ出來ル。

(二) 運航部ニ轉動シタ者(解員者ヲ除ク)ノ休暇ハ艦艇乗員ニ準シ各地方復員局長所定ニヨリ實施スル。

七 特別保管艦艇出動ヲ要スル場合ニハ中央ヨリ關係各部ニ對シ左ノ事項ヲ指令スル。

- (イ) 出動艦船名
- (ロ) 行動豫定
- (ハ) 其ノ他必要ナル事項

八 關係地方復員局長ハ右指令ヲ受領シタラバ速ニ次ノ諸作業ヲ實施シ出動可能期日ヲ所要ノ向ニ報告(通報)スル。

- (イ) 乗員ノ補充

乗員ハ定員表ニヨル全定員ヲ補充スルノヲ建前トシ主トシテ所在ノ運航部ヨリ充足スル。

但シ元士官ノ異動ハ中央ヨリ發令スル。定員ヲ變更スル必要アル場合ハ其ノ部度中央ヨリ指令スル。

- (ハ)(ロ) 燃料糧食需品等搭載

試運轉 要スレハ自差修正。但シ使用燃料ハ十二節五時間以内トスル。

- (ニ) 現状調査

出動ニ必要トスルモノノ不足ガナイカヲ検査スルノヲ主眼トスル。

- (ホ) 現状報告

保管物件目録提出。出港前日附テ現状報告及保管物件目録ヲ提出スル提出部數第五號(イ)項ニ同ジ。

- (ヘ) 其ノ他保管群ノ改編又ハ基準保管艦ノ變更等所要ノ措置ヲ講ズル。

九 出動艦ハ所定通行動シ所要ノ發着電報ヲ行フ。

一〇 報告要領

- (イ) 特別保管艦艇長(保管群ヲ編成シタ場合ニハ基準保管艦々長)ハ保管状態完成時及毎月一日現在ニテ速ニ第五號(イ)項要領ニ依リ現状報告及保管物件目録ヲ調製提出ス

ル(書類報告)。

(ロ) 各地方復員局長ハ特別保管艦艇保管状態完成時及毎月

一日現在ニテ各特別保管艦艇ノ繫留浮標番號又ハ岩壁名
乗員現狀及船體機關各部現狀ヲ現狀報告現狀摘要區分ニ
從ヒ甲乙丙ニ分チ電報報告スル。

但シ甲乙丙ノ區分ハ左ニ依ル。

甲ハ完備 乙ハ完備迄二十日以内ヲ要スルモノ。

丙ハ完備迄二十日以上ヲ要スルモノ。

一一 經費、保管實施上特ニ要スル經費ハ保管地方復員局經理
部宛協議スルコト。

一二 保管實施上特ニ留意スベキ事項

(イ) 終戦時ノ混亂シタ物品處理ノ苦イ體験ニ鑑ミ上下一致自
發的責任感ヲ以テ特ニ物品ノ保管及ビ取扱ヲ嚴正ニ行ヒ布
クモ非違行爲發生セザル様之方豫防措置ニ遺憾ナイ様ニス
ルコト。

(ロ) 萬一不幸ニシテ非違行爲アル場合ニハ單ニ非違ニ對スル
科ノミナラズ聯合軍指令ニ違反シタ科トシテ處罰サレルカ
ラ斯カル場合ニハ迅速且斷乎タル處置ニヨリ曲直ヲ明ラカ
ニサレタイ。尙此ノ點ニ就イテハ聯合軍ニ於テモ極メテ重
視シテ居リ要スレバ非違者ニ對シテハ聯合軍ニテ之ヲ處斷
スル意向ガアルカラ特ニ遺憾ナイ様ニスルコト。

備考

一 特別保管艦艇撤下決定シタ場合ハ聯合軍ノ指令ニ基キ

附 表

特別保管作業實施標準

作業 日時	同所要 日數	作 業
第一日	一日	指定泊地着現狀報告 保管日録提出
第二日	一日	乗員二分ノ一轉勤
第三日	三日	現狀調査
第六日	五日	物件陸揚
第十一日	一日	基準保管艦ハ補充、通常保管艦ハ保管員 以外轉勤
第十二日	二日	現狀報告、保管日録提出、現狀調査
第十四日		保管状態完成、休暇開始

(註)
本標準ハ元軍艦ニ適用スベキモノデ小艦艇ニ於テハ現狀調査
及物件陸揚期間ヲ半減スルノヲ適當トスル。
(別紙添)

中央ヨリ左ノ通指令スル。
イ) 内務省ニ引渡日時
解撤請負工場名
當該地方復員局長ハ出先内務省機關ニ之ヲ引渡シ更ニ出先
大藏省機關ヲ經テ請負工場ニ引渡スモノトスル。
二 解撤實施要領ハ別ニ定メル。
(終)

特別保管艦艇保管群編成標準

1. 横須賀

艦種	群番號	艦名	隻數
驅逐艦	1	花月、春月、夏月、宵月、雪風、波風	6
	2	初櫻、櫻、夕風、萩、葛、柿	6
	3	{ 莖、椿、桐、楠、竹 CD 34	6
海防艦	4	福江、保高、生野、四阪、倉橋、屋代	6
	5	CD 37、CD 105、CD 107、CD 49、CD 77、CD 71	6
	6	CD 48、CD 76、CD 14、CD 16、CD 36、神津	6
輸送艦	7	T 9、T 13、T 16、T 19、T 110、T 147	6
	8	{ 掃 23、掃 102、掃特 21、掃特 22 神島、石崎	6
	9	No. 11、12、13、14、17、18	6
驅逐特務艦	10	1、4、27、58、68、72	6
	11	78、88、155、159、161、171	6
	12	181、183、185、194、196、202	6
哨戒艇	13	{ 203、212、221、241 No. 31、34	6
	小計		78

1203

2. 佐世保

艦種	群番號	艦名	隻數
驅逐艦	1	{ 櫻、雄竹、杉、楓、波勝 (標的) 若勝	6
	2	志賀、鶴來、竹生、生名、宇久、金輪	6
	3	波太、對馬、樺提、隱岐、CD 55、CD 57、	6
海防艦	4	CD 27、CD 79、CD 215、CD 221、CD 227、CD 217	6
	5	CD 58、CD 78、CD 106、CD 118、CD 126、CD 142	6
	6	CD 150、CD 26、CD 40、CD 102、CD 156、CD 8	6
輸送艦	7	CD 44、CD 52、CD 60、CD 192、CD 194、CD 196	6
	8	CD 198、CD 12、CD 22、CD 104、CD 154、CD 32	6
	9	{ T 20、T 137、T 172 箕面、粟島、濟州	6
驅逐特務艦	10	{ 白崎、荒崎、早崎 No. 38、雉 (水雷艇)	5
	11	No. 71、80、89、90、93、99	6
	12	154、158、168、169、173、231	6
哨戒艇	13	234、247、249、250、哨戒艇 176、掃特 16	6
	小計		77

3. 舞鶴

艦種	群番號	艦名	隻數
驅逐艦	1	{ 初梅、樺、榎、楨、椎 掃 21	6
	2	{ 奄美、占守、新南 黑神、片島	5
	3	CD 67、CD 81、CD 85、CD 87、CD 205、CD 207	6
海防艦	4	CD 26、CD 40、CD 102、CD 156、CD 158、CD 160	6
	5	No. 57、157、162、166、184、219	6
	6	236、79、86、164、174、175	6
驅逐特務艦	7	186、187、198、214、215、217	6
	8	222、227、232、239、245、246	6
	9	179	1
哨戒艇	10	84、135、136、137、138、139	6
	11	152、153、175、179、191、154	6
小計		60	
合計		215	

備考

1. 横須賀繫留艦船ハ横須賀港内 (含長浦) = 繫留スルモノトスル
2. 本表保管群番號ハ全艦船同時繫留ノ場合ノモノニシテ逐次繫留ノ場合ハ 1946 年 6 月 18 日 Com Nav Jap Serial 846 指令ニ添フ如ク適宜六隻宛繫留スルモノトスル
3. 繫留 = 關シテハ現地聯合軍ト連絡ノ上整備補給ニ便ナル場所ヲ選定スルモノトス

復員廳第二復員局公報

第三一號

昭和二十一年八月三十日(金)

第二復員局文書課

○令 達

復二第一八七號

元驅逐艦 沙 風

右ヲ特別輸送艦トシ横須賀地方復員局所管ト定メル。

昭和二十一年八月二十日

復員廳 總裁

復二第一九二號

復員廳分課規程中次ノヤウニ改正スル。

昭和二十一年八月二十五日

復員廳 總裁

別紙第二第二十八條ノ表中吳地方復員局ノ項掃海部ノ欄「崎」ヲ削ル。

(参照 六月二十日第二復員局公報)

○通 牒

復二第一九三號

復員廳地方復員局定員表(内譯)中次ノヤウニ改正サレタ。

昭和二十一年八月二十五日

復員廳第二復員局公報 第三一號 昭和二十一年八月三十日

復員廳第二復員局長

吳ノ部中仙崎掃海部ノ項ヲ削リ「三〇九」ヲ「二九八」ニ、「一一〇五五」ヲ「一〇二五」ニ、「一六三四」ヲ「一六二五」ニ、合計ノ項「一、一七一」ヲ「一、一六〇」ニ、「三、五二九」ヲ「三、四九九」ニ、「六、三七九」ヲ「六、三六〇」ニ改メル。

(参照 六月二十日第二復員局公報)

復二第一九四號

昭和二十一年復二第七號復員事務官ノ定員ニ關スル件中次ノヤウニ改正サレタ。

昭和二十一年八月二十五日

復員廳第二復員局長

吳地方復員局ノ項中「六〇」ヲ「四九」ニ、「三七九」ヲ「三四九」ニ、計ノ項「二五九」ヲ「二四八」ニ、「二二八一」ヲ「二二五一」ニ改メル。

(参照 六月十九日第二復員局公報)

二復經契第三〇〇號ノ一

昭和二十一年八月十四日

復員廳第二復員局總務部長
復員廳第二復員局經理部長

關係各廳長
特別輸送艦艇長 殿

日用品等配給ニ關スル件ニ改正ノ件通牒

昭和二十年二復經理局第一號通牒首題ノ件第一號(ロ)項表(3)ノ中
ノ「元海軍病院タリシ」ヲ除ク。
(註 元陸軍病院タリシ國立病院ニモ配給スルノ意ナリ)

二復經理第三〇〇號ノ二

昭和二十一年八月十四日

復員廳第二復員局經理部長

關係各廳長
特別輸送艦艇長 殿

日用品等配給品種標準改正ニ關スル件通知

二復經理第三〇一號ノ一〇通知ノ首題標準別表中「元海軍病院
タリシ國立病院收容中ノ患者」ノ欄ノ「元海軍病院タリシ」ヲ
除ク。

〇雜 款

〇郵便物發送先

長崎地方世話部第二復員課 長崎市萬里町二九

特別輸送艦 竹 佐世保郵便局氣付

同 海第四〇號

同

同 夕 風 横須賀市横須賀運航部氣付
同 荒 崎 吳市吳地方復員艦船運航部氣付
同 波 太 福岡市海岸通り二丁目
同 雄 竹 博多運航部氣付
若松市九州造船所氣付

〇事務所

七月二十六日移轉 和歌山地方世話部第二復員課
和歌山市秋月海草中學校内

(紀勢西線東和歌山驛下車。電話和歌山市内六四番)

七月三十一日閉鎖 新潟掃海部

七月三十一日受入業務停止 下關上陸地連絡所

九月一日閉鎖ノ豫定 (爾後六下關市新町三丁目 下關上陸地連絡所殘務整理班)

七月三十一日閉鎖 吳地方復員局補給部徳山出張所

八月九日移轉 門司上陸地連絡所

門司市仲町一丁目吳地方復員局下關掃海支部門司出張所内

(電話門司一六五番)

復員廳第二復員局公報

第三三號

昭和二十一年八月三十一日(土)
第二復員局文書課

○令 達

復二第二〇七號

復員廳分課規程中次ノヤウニ改正シ來ル九月十日カラコレヲ施行スル。

昭和二十一年八月二十八日

復員廳總裁

別紙第二第二十八條ノ表中吳地方復員局ノ項上陸地連絡所ノ欄「下關」ヲ、佐世保地方復員局ノ項上陸地連絡所ノ欄「唐津」ヲ、同項上陸地連絡所ノ欄「門司、唐津」ヲ、大阪地方復員局ノ項上陸地連絡所ノ各欄「田邊」ヲ削ル。

(參照 六月二十日第二復員局公報)

○通 牒

復二第二〇五號

復員廳地方復員局定員表(内譯)中次ノヤウニ改正シ來ル九月十日カラコレヲ施行セラレル。

昭和二十一年八月二十八日

復員廳第二復員局長

吳ノ部中下關上陸地連絡所ノ項ヲ削リ「二九八」ヲ「二八七」

復員廳第二復員局公報 第三三號 昭和二十一年八月三十一日

七五

ニ、「一、〇二五」ヲ「九九五」ニ、「一、六一五」ヲ「一、五九五」ニ改メル。

佐世保ノ部中唐津運航部、門司上陸地連絡所及ビ唐津上陸地連絡所ノ各項ヲ削リ「三〇二」ヲ「二六七」ニ、「七九〇」ヲ「七〇五」ニ、「一、五三〇」ヲ「一、四六五」ニ改メル。

大阪ノ部中田邊運航部及ビ田邊上陸地連絡所ノ各項ヲ削リ「三六」ヲ「一〇七」ニ、「四五七」ヲ「三八七」ニ、「五五〇」ヲ「四七五」ニ改メル。

合計ノ項中「一、一六〇」ヲ「一、〇八五」ニ、「三、四九九」ヲ「三、三三四」ニ、「六、三六〇」ヲ「六、二〇〇」ニ改メル。

(參照 六月二十日第二復員局公報)

復二第二〇六號

昭和二十一年復二第七號復員事務官ノ定員ニ關ズル件中次ノヤウニ改正シ來ル九月十日カラコレヲ施行セラレル。

昭和二十一年八月二十八日

復員廳第二復員局長

吳地方復員局ノ項中「四九」ヲ「三八」ニ、「三四九」ヲ「三一九」ニ改メル。
佐世保地方復員局ノ項中「四一」ヲ「六」ニ、「一九七」ヲ「一

1206

